



フルート×ギター×語り
『シークレットガーデンおとばな』

▶音とお話のユニット「おとばな」による新感覚「音語りステージ」。(参加無料・先着順)

日時:11月10日☎午後2時～(開場:午後1時30分)

※約70分公演 定員:一般70人

場所:八郷総合支所4階やさと響きホール

申込方法:10月11日☎から中央図書館へ電話または電子申請にて申し込み

輝望閃詩ダクシオン『ヒーローおはなし会』

▶インディグノ帝国から、人々と知を守りながら、読書の楽しさや大切さを伝える「本のヒーロー」が石岡にやってくる!! (参加無料・先着順)

日時:11月2日☎午後2時～

(開場:午後1時30分) ※約60分公演

場所:中央図書館3階読書室 定員:親子70人

申込方法:10月4日☎から中央図書館へ電話または電子申請にて申し込み



◆こども図書館本の森

5日☎ おはなし玉手箱(午前10時～)

10日☎ ひよこのおはなしかい

(午前10時30分～)

19日☎ むかしむかしのおはなし会

(午前10時～)

◆郷の本棚やさと図書館

12日☎ おはなしフレンズ

(午後2時30分～)



▲舟塚山古墳の円筒埴輪

時の記憶

シリーズ 227

「舟塚山古墳の埴輪」

図文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線1454)

舟塚山古墳は、北根本・中津川地区に存在する前方後円墳で、墳丘の大きさは186メートル。茨城県内最大、東日本でも2番目の規模の大古墳です。

では、築造されたのはいつなのでしょう。代表的な見解を発表順にみると、「6世紀中葉前後」(1964年)、「5世紀中葉」(1976年)、「5世紀中ごろから後半期」(1985年)、「5世紀前半代」(1994年)、「5世紀第一四半期」(2012年)、「5世紀初頭を前後する時期」(2024年)と、当初は6世紀代と考えられてきたのが、5世紀でも古い時期と考えられるようになってきています。

年代観の転換のきっかけとなったのが、1976年に採集された埴輪についての研究成果です。舟塚山古墳の埴輪には野焼き焼成の際に付着する「黒斑」と呼ばれるススコゲが付着していること、したがって窯^{あな}焼成が導入される前の5世紀中葉以前であることを指摘したのです。

このたび、この埴輪を含む多数の埴輪を寄贈いただいたことから、左記の企画展を開催し、紹介します。

ふるさと歴史館企画展「舟塚山古墳の埴輪」
期間/10月9日☎～12月27日☎
場所/石岡市立ふるさと歴史館
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)



いしおか俳句同好会

迅雷や少年の日の蘇る

和平への祈りは虚しガザの夏

連日の猛暑余生を脅かし

終戦忌核の傘下の祈りかな

やさど俳句会

永訣の日や百日紅揺れやまず

送り盆列島救ふ俄雨

せせらぎに西瓜冷して大藁屋

蒔くことが定めやうに大根蒔く

いしおか川柳会

天井の窓から入る日本晴れ

赤ちゃんの生命線に見る未来

悠久の音色心をわし掴み

抜け殻を振り捨て生きる新時代

石岡俚謡会

ドーンと音鳴る 物干し台へ 闇に次々 花の咲く

風に風鈴 チリチリ鳴って 冷しソーメン 暑夏の味

焼けた砂浜 歩けなかった 遠い思い出 夏の海

祭り終って 打ち上げ花火 名残り惜しんで 帰る客

夏の暑さに 負けずに咲いて 思い燃え立つ 百日紅

気合い一球 猛暑も逃げる めげせ頂点 甲子園

今日の暑さを ジョッキの泡と ごくり飲み干す 一杯目

能登の海辺に 飛び交う詛り イカの丸やき なつかしむ

投稿作品

此岸かな残れる老いに曼殊沙華

大型の台風の進路案じるもお盆送りて少し安堵す

岡野 はつ子 (小幡)

菅野 憲枝 (南台)

福田 泰夫 (東光台)

山口 美津子 (総社)

馬場 小零 (片岡)

秋山 享弘 (宇治会)

萩原 清 (宇治会)

石田 誠一郎 (瓦谷)

醍醐 正夫 (東大橋)

北白川 令 (石岡)

高橋 房子 (小幡)

永瀬 敬子 (柿岡)

暁 夢華 (総社)

秋野 もみじ (南台)

見明 節子 (若宮)

助川 浩史 (府中)

篠原 美千代 (国府)

前島 くに子 (貝地)

小川野 蛙 (府中)

石塚 芳華 (石岡)

宮内 厚子 (正上内)

荒井 幸子 (山崎)

スポーツ協会だより

第17回

「石岡市バスケットボール協会」

現在、主に「バスケットボールの普及活動」に重きをおいて、活動をしています。

市には4つの少年団、男子:石岡 KID (石岡地区男)・ヤサトスワローズ (八郷地区男女)、女子:東成井 ANGELS (園部地区女)・石岡城南プリンセス恋瀬 MBC (石岡地区女)があり、地区のしほりなどはなく、どのチームにも参加することができます。

バスケットボールを通して得られる幼少期の貴重な経験は、何ものにも代えがたいものです。心身が鍛えられるほか、他地域の子どもたちとの交流、縦割りの集団での学び、社会性、協調性、主体性を育みます。

そして、涙、笑顔、感動、スポーツの醍

醐味がここに 있습니다。子どもたちは、大きな成長をして涙なみだの卒団していきます。

ぜひ、体験入団してみてください。

〒石岡市バスケットボール協会 (中嶋)

✉shiho2983@yahoo.co.jp

